

校友会 S T 部会（小児）研修会のお知らせ

S T の先生方へ

今回の小児分野の S T 部会は初めて発達障害をテーマにした内容です。近年、発達障害を持つお子さんへの様々な療育の情報が簡単に手に入るようになりました。そうした背景もあるのでしょう。保護者からの「S T の指導を受けたい」という希望が大変に多い現状です。S T の「ことば」の指導が言語機能を向上させる、という期待感は大いでしょう。子どもに関わる S T はそうした保護者の思いに応え、子どもたちの育ちを支えたいと、日々現場で悩み、工夫しながら指導・訓練にあたっていることと思います。一方で「ことば」というものの成り立ちを考えてみますと、専門家の指導はその一部です。生活場面における他者との関わりの中での、子ども自身の能動的な働きが「ことば」の発達の基層にあるのではないのでしょうか。子どもに関わる S T が増えてきた今、「ことば」をどのように捉え、関わっていくのか。簡単なテーマではありませんが、一度立ち止まって考えてみる必要があると思います。

そこで今回は、奈良女子大学名誉教授の浜田寿美男先生をお招きしご講演を頂きます。浜田先生は発達心理学がご専門で、ピアジェやワロン等の翻訳の他に、子どもの自我形成（身体とことばのつながり）の研究や、知的障害の子どもの供述分析などを通じ、障害や発達について問い続けられてきた先生です。当日は現場の S T から「日常会話はできるものの理解が伴わないことでお互いに誤解が生じてしまう学童のお子さん」で、「言語機能訓練での学習成果がなかなか得られなかった」という症例を提出してもらい、浜田先生からご意見をいただく予定です。「ことば」とは、「発達」とは何か？という問いに目を向け、日頃の指導・訓練、そして S T の役割について再考してみたいと思います。大変貴重な機会です。皆様ふるってご参加下さい。

P T ・ O T の先生方へ

今回は発達障害をテーマに取り上げます。お喋りは上手なのに上手くやりとりできない、相手の勘違いや思い違いからいつの間にか話が噛み合わない…そんなお子さんとお出会いして困った経験はありませんか？会話をしてもなぜかじっくり通じ合わない、そんな上手くやりとりできない状況の本質

を発達心理学の視点から考える機会を設けました。そこで今回は、奈良女子大学名誉教授の浜田寿美男先生をお招きしご講演を頂きます。浜田先生は発達心理学がご専門で、ピアジェやワロン等の翻訳の他に、子どもの自我形成（身体とことばのつながり）の研究や、知的障害の子どもの供述分析などを通じ、障害や発達について問い続けられてきた先生です。当日は現場のSTから症例を提出してもらい、浜田先生からご意見をいただく予定です。通じ合うことを大事にコミュニケーションの本質とは何か？という問いに目を向けてみたいと思います。大変貴重な機会です。皆様ふるってご参加下さい。

講演名：コミュニケーションと〈私〉のなりたち

講師：浜田 寿美男先生（奈良女子大学名誉教授）

日時：2013年8月24日（土） 13:00～15:00（2時間）

参加費：校友会会員 無料、 会員外 500円

（職種は問いませんのでご興味のある方は是非お越し下さい）

お申し込み方法：次の項目を記入して、下記のメールアドレスまでお申し込みください。

件名：ST部会申し込み

- ①氏名
- ②職種
- ③所属
- ④会員・非会員
- ⑤連絡先（メールアドレス）

お申し込み先：koyukai@ocr.ac.jp

申し込み締め切り：8月23日（金）17:00

担当：本山